

報道関係各位

ソーラーフロンティア株式会社

**環境に優しい CIS 薄膜太陽電池をエコ動物園に設置
～埼玉県こども動物自然公園の『ペンギンヒルズ』の造波装置電源として～**

【埼玉ー2014年3月25日】

ソーラーフロンティア株式会社(代表取締役社長:玉井裕人、本社:東京都港区、以下:ソーラーフロンティア)は、このたび埼玉県東松山市の埼玉県こども動物自然公園の『ペンギンヒルズ』に、CIS 薄膜太陽電池パネルを納入しました。この施設は、絶滅危惧種であるフンボルトペンギンの繁殖と保全を目的とした世界最大規模の生態観察空間です。

埼玉県は、エコタウンプロジェクトの一環として、『こども動物自然公園 ECO-zoo 整備事業』を2012年より進めています。今回設置されたソーラーフロンティアのCIS 薄膜太陽電池モジュール(約4kW)は、フンボルトペンギンのエクササイズをサポートするための造波装置の電源となり、晴天時には必要とされる電気の100%を供給する計画です。

ソーラーフロンティア製CIS 薄膜太陽電池は、一般的な結晶シリコン製に比べパネルを生産する時に使う原料やエネルギーが少なく、資源を有効活用して製造できる(エネルギーペイバックタイムが短い)という特徴が評価されています。また、実際の使用環境下での発電量が優れており、このようなパネルの特性がこの度の採用の決め手となりました。加えて、パネルのガラス表面は太陽光の反射を抑える特性を備えており動物にも優しいパネルです。

ソーラーフロンティアは、今回の設置を通して、環境に配慮したCIS 薄膜太陽電池によってフンボルトペンギンに最適な住環境を提供するお手伝いをするとともに、埼玉県こども動物自然公園の省エネ・創エネに寄与していきます。

以上

【概要】

通電日	2014年2月25日
所在地	埼玉県東松山市岩殿 554 番地
営業時間	9:30-17:00 (入園は16時まで) ※11/15-2/10は9:30-16:30 (入園は15:30まで) 毎週月曜日は休園日
指定管理者	公益財団法人埼玉県公園緑地協会
施工者	積和建設埼玉株式会社 (ソーラーフロンティア代理店)

【現地完成図】



ソーラーフロンティアの CIS 薄膜太陽電池モジュールが設置された『ペンギンヒルズ』

【ソーラーフロンティア株式会社について】

ソーラーフロンティア株式会社は昭和シェル石油株式会社(5002, T)の100%子会社であり、CIS 薄膜太陽電池の生産・販売を行っています。2011年2月より商業生産を開始した国富工場(年産能力900メガワット)は、CIS 薄膜太陽電池の生産工場として世界最大です。ソーラーフロンティア株式会社が生産・販売するCIS 薄膜太陽電池は、銅、インジウム、セレンを使用して、当社の独自技術で生産する次世代太陽電池であり、経済効率が高く、環境に優しいことが特徴です。太陽電池の設置容量(kW)あたりの実発電量(kWh)が従来型のものに比較して高いだけでなく、原料からリサイクル処理まで高い環境意識で設計・生産されており、その長期信頼性や保証体制に関しては「JETPVm 認証(JIS Q 8901)」などの第三者機関による認証を受けてきました。デザイン面でも、内閣総理大臣表彰「第2回ものづくり日本大賞」で優秀賞(製品・技術開発部門)、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2007年グッドデザイン賞」では特別賞エコロジーデザイン賞を受賞しています。詳細につきましては[当社ホームページ](#)をご覧ください。[公式 Facebook](#)、[公式 Twitter](#) と[公式ブログ](#)でも太陽光発電に関する最新情報などを随時発信しています。

【埼玉県こども動物自然公園について】

埼玉県こども動物自然公園は1980年(昭和55年)5月5日に埼玉県東松山市に開園されました。2011年、フンボルトペンギンの生息空間に入って間近で観察ができる日本初の展示手法の導入により入園者の増加率が全国第2位となり、2014年1月4日に来園者2,000万人を達成しました。世界最大のフンボルトペンギン生態園は、2011年に市民ZOOネットワークによる、動物の飼育環境を豊かにする取り組みに贈られるエンリッチメント大賞を受賞しています。46ヘクタールの敷地内には動物園以外の施設のほかに、『国際児童記念館』(こどもの城)、ピーターラビットなどの絵本の資料館『ピアトリクス・ポター資料館』、『アスレチック』施設なども設置されています。

【積和建設埼玉株式会社について】

積和建設グループは、積水ハウスの施工部門を永きにわたり担当してきた積水ハウス出資の施工会社です。積水ハウスの建築プロセスの一つ一つを確実に、また正確に施工までを総合的な品質管理を行っており、なかでも基礎工事と組立工事は、建物そのものの精度と品質を左右する重要なプロセスであると考え、これまで数多くの新技術を開発してきました。そして積水ハウスの施工の礎として培われてきた、積和建設の高い技術と信頼。在来木造住宅や店舗のリフォーム・新築、そしてマンションのリフォーム、エクステリア事業までを手がけ、さらにその活動の領域を拡大し、“総合建設業”として、より大きな分野へ向けて、飛躍しています。

報道関係からの問い合わせ先:
ソーラーフロンティア株式会社 広報部
吉田・川村 TEL: 03-5531-5792